

Brush Up Letter

神戸大学医学部附属病院

D&N plus ブラッシュアップセンター

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 TEL 078-382-5266
E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

2017年12月～2018年3月の主な活動

12月	
15日	● クリスマスカード送付 ● ブラッシュアップレター22号発行
19日	● 東京女子医科大学学内ファミリーサポートセンター視察
1月	
27日	● 平成29年度 文部科学省 未来医療研究 人材養成拠点形成事業「なでしこ女性医師養成コース」共催セミナー 地域だからこそできる！～医療現場の魅力～ 女性医師×地域医療＝もっと楽しい！ -岡山大学の取り組みより- 基調講演 岡山大学医療人キャリアセンター MUSCUT センター長 片岡仁美先生
2月	
9日	● 看護師復帰前研修開催
23日	● 臨時託児サービス実施
27日	● Dr.キャリアカフェ メンター・メンティーの会開催
3月	
5日	● 看護師復帰前研修開催 ● 臨時託児サービス実施
13日	● 第2回運営委員会開催
-	● ポケットハンドブック・クリアファイル作成

2018年4月～5月の主な予定

4月	
2日	● 平成30年度新規採用職員合同研修
25日	● 看護部長講話
5月	
12日	● 神戸大学女性医師の会開催
	● Dr.キャリアカフェ メンター・メンティーの会開催予定

〔12/19〕東京女子医科大学 学内ファミリーサポートセンター視察



2017年12月19日(火)開設7年目となられた東京女子医科大学ファミリーサポートセンターの視察に伺いました。

設置の経緯など詳細を丁寧にご説明いただきました。「周産期医療環境整備事業(人材養成環境整備)」「男女共同参画型NICU人材養成プログラム-地域と支えあう周産期医療-」の採択を受け、「地域との連携によるファミリーサポートを目的とした支援体制の整備」を目的

の一つとしておられます。昨今この地域でも重大な問題となっている保育所の待機児童問題や、医療現場の復帰者は1歳未満の子どもを持つ女性医療者が多いことより、安心して働く環境作りのために、院内ファミリーサポートセンターを開設。センターの運営はNPO法人に委託し、万全の対策[提供会員(支援者)講習、依頼会員(保育を依頼する人)への利用前説明、事故対応等]を期した運営を実施されています。

ファミリーサポートセンターの主な支援内容
Ⅰ.一時預かり保育(健康な子どもの預かり)
対象年齢:生後おおむね2ヶ月～15歳
Ⅱ.病児・病後児保育(病児・病後児の預かり)
対象年齢:1歳～6年生
Ⅲ.お泊り保育(健康な子どもの宿泊をともなう預かり)
対象年齢:1年生～6年生
幅広い年齢の子ども達が様々な場面、時間に利用することが出来ます。

提供会員の登録にも工夫を凝らされ、登録者数も増加。現在の全登録会員数は428名ということです。提供会員は「安易に仕事を引き受けない」等しっかりとしたガイドラインを保つことで、重大事故を防いでおられると伺いました。全国各県都道府県市区町で実施されているファミリーサポートセンター、提供会員(支援者)は講習を受講し登録すれば預かり保育等のサービスを提供することができ、支援会員は入会説明会を受けることで支援を受けることができます。ご興味のある方は、神戸市ファミリーサポートセンター、兵庫県ファミリーサポートセンターのホームページをご覧ください。東京女子医科大学医師・研究者支援部門、部門長佐藤教授はじめご対応くださった皆様、ありがとうございました。

お知らせ

神戸大学女性医師の会講演会開催

開催日:平成30年5月12日(土)
会場:神緑会館 多目的ホール
基調講演:岡山大学医療人キャリアセンター
MUSCUTセンター長 片岡 仁美先生
詳細は決まり次第お知らせいたします。

育児介護復職者支援短時間勤務非常勤医員

随時応募・随時採用
詳細はブラッシュアップセンターまでお問合せください。

〔1/27〕2017年度第2回「なでしこ女性医師養成コース」共催セミナー 女性医師×地域医療＝もっと楽しい！-岡山大学の取り組みより-

2017年度第2回共催セミナーは、第1部基調講演に岡山大学医療人キャリアセンターMUSCUTセンター長 岡山大学地域医療人材養成講座教授片岡仁美先生をお迎えしご講演いただきました。

お話いただいた内容は、1.女性医師の現状、2.岡山大学の取り組み、3.女性医師×地域医療＝もっと楽しい？

1.女性医師の現状

2016年現在、女性医師数は全医師数の21%、70,000人弱程度。その中でも、20代～30代の女性医師は54%。女性医師の半数以上が20～30代で占められており、ロールモデルの不在等、自分のキャリアパスが描けずに悩む女性医師が多い状況。(男性医師の場合、各年齢層に同程度の割合で分布しており、各年代ごとのキャリアパスは明確)

このような現状を踏まえ、復職に関するアンケート調査を実施。保育所等ハード面のサポート以上に「家族の理解」「職場・上司の理解」等ソフト面でのサポートが重要。「復職しやすい職場」が必要と7割近くが回答。



2.岡山大学の取り組み

このボトムアップした意見を反映し、平成20年「女性医師支援枠」の運用開始。平成22年度より「復帰支援制度」として規約、利用人数、利用期間を定め出産・育児だけでなく男性や介護期の人にも利用対象者とした制度を運用。このほか、マタニティ白衣の貸出など様々な支援を実施。また、学生教育として「医師としてどう働くのか、どう生きるのか」仕事に対する考え方、取り組み方を考える「プロフェッショナリズム教育」を実施する等、学生から医療者へ一環した支援を展開されています。

3.女性医師×地域医療＝もっと楽しい？

制度利用者の56%が地域で働いていることより、医師不足地域でのキャリア支援を展開し、地域住民を巻き込んだ活動を開始。多くの成果を上げ、地域に貢献されている様子をお話いただきました。

質疑応答時には、参加された診療科長や指導医からの質問が寄せられました。



第2部ワールドカフェ

片岡先生のファシリテーションの下、グループワークを実施。90分間が短く感じられるほど様々な意見が各テーブルで熱く語られるなど、大変貴重な時間を過ごしました。片岡先生、長時間のご講演、ファシリテーションありがとうございました。ご参加の皆様お疲れ様でした。

〔2/9、23、3/5〕 看護師復帰前研修・臨時託児サービス開催

2月9日(金)、2月23日(金)、3月5日(月)の3日間2018年度に復帰予定の育児休業中の看護師を対象に復帰前研修を開催しました。今年は13名の方が受講されました。



採血などの実技実習では、1年から2年ぶりに注射器を持つ手が震える等緊張されながら真剣に取り組まれていました。カルテ操作説明では、ログインパスワードを忘れた時のアドバイスにしっかり耳を傾けておられました。

ある参加者の方が、「産休、育休中、採血のシミュレーションだけはずっと続けていました。復帰後はまずこれで貢献」と仰られていたことが印象に残っています。受講時間は2時間15分程度でしたが、久しぶりの職場の雰囲気にお疲れになったことと思います。

臨時託児サービスを利用していただいたお子さん達は、シッターさんと仲良くなりながらも、ふっとお母さんを思いだし、ドア付近を指差したり、歩き始めたお子さんはドア付近を行ったり来たりしながら始めての保育室を体験されていました。帰りの交通機関の中ではぐっすり休まれたことと思います。ご参加くださった皆様お疲れ様でした。



〔2/27〕第8回メンター・メンティーの会開催

2月27日(火)、平成29年度最後のDr.キャリアカフェメンター・メンティーの会を開催しました。9名の医師4名の子医学部生の皆様にご参加いただき、各グループごとに様々なテーマをお話いただけたと思います。

頂いたご意見より主催者として、ワールドカフェ形式を取り入れるなど、今後は30分ほどでテーブル移動する等、より多くの方と話せる機会を作る工夫も必要かと反省しています。次回は5月頃の開催を予定中です。詳細は決まり次第お知らせいたします。



編集後記

ブラッシュアップセンター設置から11年間、センター長を務めておりました皮膚科教授 錦織千佳先生がこの3月末をもってセンター長を退任し、4月より新たにセンター長として眼科教授 中村誠先生が就任することとなりました。また副センター長も岡本則子副看護部長より岡本純子副看護部長に変わります。2018年4月、幣センターも新体制の下始動してまいります。錦織教授、岡本副部長お疲れさまでした。ありがとうございました。中村教授、岡本副部長と共に気持ちも新たにD&Nplus ブラッシュアップセンターは活動を継続して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。